

2016年4月21日-パリ本社

(ステートメント翻訳)

グループPSA（以下、当グループ）は21日、自動車業界における排ガス調査の一環として、仏経済財政産業省の競争・消費者問題・不正行為防止総局（DGCCRF）の立ち入り調査を受けましたことをお知らせします。

当グループは、拠点を置く全ての国において排ガス規制を順守していることを確認しており、その技術力に確信を持って、当局の捜査に全面協力しています。

また、ディーゼルエンジンによって排出されるNOx（窒素酸化物）の処理機能で、微粒子捕集フィルターの後流側に搭載されているSCR（選択触媒還元）技術など、BlueHDiの排ガス後処理装置が有効であることも確認しています。本技術は2013年末より、当グループのEURO6基準の全乗用車に漸次採用されています。

当グループは2015年11月、お客様に対する透明性を強化すべく、トランスポート&エンバイロメント（T&E）およびフランス自然環境（FNE）の両非政府機関とともに確立した試験方法による実際の路上走行時の燃費結果を公開する独自の取組みを推進する決定を行いました。なお、この試験方法はビューローベリタスによる監査を受けています。

Media Contact: (+33) 1 40 66 42 00

About PSA Group

With its three world-renowned brands, Peugeot, Citroën and DS, the PSA Group sold 3 million vehicles worldwide in 2015. Second largest carmaker in Europe, the PSA Group recorded sales and revenue of €54 billion in 2015. The Group confirms its position of European leader in terms of CO₂ emissions, with an average of 104.4 grams of CO₂/km in 2015 and is currently the leader in connected vehicles, with a fleet of 1.8 million connected vehicles on the road worldwide. It is also involved in financing activities (Banque PSA Finance) and automotive equipment (Faurecia).

For more information, please visit groupe-psa.com/en